

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員一人ひとりが、利用者一人ひとりの思いを汲み取り、それを実現できるよう、理念の具現化に対するさらなる取り組みを期待したい。	左記、外部評価でのご指摘の通り理念の具現化を図る為、右側の通り継続して各職員が自覚。	「会社方針・運営理念」毎朝復唱する事で目標達成達成したい。第一段階は「利用者の方々を中心」に対応する事。職員中心ではない事と併せて、自覚する事で一達成する。	12ヵ月
2	13	重度の利用者もあり、特に夜間の火災の際など、スムーズに避難誘導できるよう繰り返し訓練を行うとともに、災害対策について、引き続き地域との協力関係の構築を期待したい。	避難訓練誘導訓練は法的「年2回」であるが、3回を想定して実施。回数が結果ではないので協力関係を尊重し、消防署の助言を頂き実施。	毎回の避難誘導訓練は、各職員が現場の状況が、変わろうとも、その「現場状況」が把握できる様に「繰り返し」の連続で「身体で体験」して命を守る-----この事に、徹する。	12ヵ月
3					ヵ月
4					ヵ月
5					ヵ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)